全道大会関連資料　２０１８「館報を持ち寄ろう」

北海道高文連図書専門部

自校の「館報」をもう一歩先に

毎年行われている図書館報コンクールは毎年参加校が増え、今では50校近くのエントリーがあるようになりました。また、その内容も着実にレベルアップしてきています。参加作品は全て大会の会場に掲示され、互いに読むことができます。

でも、読むだけではその場で「ああしたい」「こうしたい」と思っていても、学校に戻って館報を作る段階になるって、思い出せなかったり、面倒くさくなったりしてしまいますよね。

そこで、それぞれの学校の「一番いい館報」を持ち寄ってみませんか？100校あれば100校それぞれに良いところがあります。自分の学校に戻って他の生徒と他校の館報を見ながら、どうしたら生徒に読んでもらえるのか、どんな工夫が自分たちにはできるのかを考えてください。自校の館報をより良いものにしてみませんか？

さあ、館報でも交流をしましょう。たくさんの参加をお待ちしています。

---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

館報持参要領

（１）用紙サイズ・カラー白黒など問いません。「一番の自信作」を持ってきましょう。

（２）館報名はもちろん自分の学校名を必ず記載しましょう。記事に関して後日、質問が来るかも？

（３）館報はコンクールに出している作品でも出していない作品でも構いません。自分たちで作成したものを1号だけを持ち寄ってください。

（４）各学校に1部ずつ持って行ってもらうために150枚印刷してきてください。

（５）著作権への配慮も大切です。本の表紙などを載せる場合は、出版元へ許諾申請をしましょう。申請方法は出版社ごとに様式などは違いますが、基本は同じです。オリジナルのイラストなどを使って、独自色を出すのも一興です。

---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

　この交流企画はコンクールではありません。順位も賞もありません。図書館報コンクールに参加しなかった学校もどんどん参加してみましょう。